



# つばさっ子

## 2014年 3月号



### 今月の行事



1日(土)	9:00~11:00	りす懇談会
3日(月)	10:00~11:00	ひなまつり行事
6日(木)	9:15までに当園	きりん・ぞう合同お別れ遠足
7日(金)	18:30~20:30	きりん懇談会
8日(土)	9:00~11:00	ひよこ懇談会
14日(金)	18:30~20:30	ぞう懇談会
15日(土)	9:30~11:30	相撲大会(つばさホール)
22日(土)	9:00~11:15	卒園を祝う会

### 家庭保育協力をお願い

当日仕事以外の方はできるだけ家庭保育をお願いします。

**\* 多人数の受け入れの為、大幅な保育室の様態替えが必要です。**

3/22(土) 卒園を祝う会

4/1(火) 入園を祝う会

3/31(月) 新年度準備

### 2014年度新体制

アトム共同保育園新園長 田丸 あけみ  
 つばさ共同保育園新園長 仲嶺 真弓

年度替わりに伴い、川崎・土岩・横井が3月末で退職することになりました。いろいろとお世話になりました。それぞれの思いは各クラスのページをご覧ください。4月からアトム共同保育園の職員がつばさへ異動してきます。ただし、以下の4人については、アトム共同保育園分園(東保育所内)への異動となります。

田丸あけみ 上野 由美子 川中 三和 宮下 絢  
 4月からの各クラスの担任発表は4月1日です。お楽しみに♪

### 事務室からのお知らせ

「新年度の提出物についてのお知らせ」を後日配布します。内容をよく読み、提出期限を守って頂きますようお願いいたします。

配布物：新年度の提出物についてのお知らせ

- ①家庭状況調査票
- ②新年度の各家庭の保育時間の通知
- ③新年度の保育用品について
- ④新年度のクラス日報と学校保険の集金袋

◎最終ページに  
 大切なお知らせがあります。  
 必ず確認してくださいね。

# オニ襲来！！ (2/3)



迫力満点の4匹(体大学生+福島保育士)のオニが暴れまわってくれました。当日までに自分の中の悪いオニを持って帰ってもらうに為に手紙を書く、オニに豆を投げつけられるよう節分ごっこで練習していたきりん、ぞうぐみ。しかし！実際オニが来るとどのクラスも大パニック。「怖くないわ」と言いながら一目散に逃げまわる男軍団、身体を寄せ合って泣きながらオニを観察する女軍団、一緒に戦っていたオッコちゃんはオニに連れて行かれてしまいました。保育士に促されてオッコちゃんを助けに行くためにぞうぐみの子どもたちがオニに手紙を渡し、オッコちゃんは無事帰還。毎年のことながら大泣きしたにもかかわらず

「俺全然こわくなかった」という男の子たちです。

オニ役を引き受けてくれた大阪体育大学3名の学生さんの感想です

衣装の方も保育園の方で完璧に準備してくれていたのでも自分も夢中になってオニ役を演じました。保育園の子どもたちも怖がる小屋オニに負けないで豆をまいてくる子など様々でした。本当にたのしかったので、来年も機会があればぜひ参加したいと思いました。  
小林正宏

節分ということでオニをやらせてもらいとても良い経験になりました。子どもたちの怖がる姿や退治しようと豆を投げてくる姿がとてもかわいらしかったです。園長先生をさらった時に子どもたちが怖がりながらも助けようとしていたところにとっても感動しました。  
加藤星矢

今回、初めてオニの役を演じましたが、とてもよい体験になりました。子どもたちの中にはオニにたち向かう子や泣いて逃げる子、きょとんとする子などたくさんの感情がみられました。子どもたちの素直な感情を間近で見れたことは、とても幸せなことに感じました。これからの子どもたちの成長に期待したいです。  
川崎浩章



さらわれたおっちゃん！！



### 伝えたいこと パート3

市原悟子

今回で36年間書き続けたアトムっ子→つばさっ子も最終です。最終ページは2003年認可保育園になってから現在までの11年間を振り返ります。現在のアトム共同保育園は12年前までは町立第6保育所でした。現在熊取町には民間3か所、町立5か所、未認可1か所の9保育所があります。12年間に3つの民間保育所ができ、公立が3か所減ったのです。

2003年3月を思い出すと今でも背筋が冷たくなります。特にアトム共同保育所の場所から第6保育所への引っ越しの際のドタバタです。3月30日(日)公民館の2階の会場で長年のアトム共同保育所とのお別れ式典がありましたが余韻に浸る間もなく、引っ越し準備、翌日31日(月)17時以降でなければ荷物を搬入できませんでした。保育と並行して後片付けと準備を行っていたのです。全てに眼が行き届かなくて、指図しながらでこ舞い状態だったので、買い揃えた新品の事務用品も廃棄処分品と一緒にごみ処理場に運んでしまったことも判明。翌日の入園式の準備をなんとか終えたのは深夜でした。このまま保育園で夜を明かした方が楽かと笑いながらフラフラで帰宅しました。

4月1日、ホールに入りきれない大人の数、子どもの泣き声が響きマイクの声が後ろまで届かない状態、保護者、子ども共に300近い人でした。騒然とした「第1回入園を祝う会」でした。

4月のスタート時、0歳児6名、1歳児18名、2歳児41名、3歳児35名、4歳児41名、5歳児38名、180近い子ども数でした。テンヤワンヤの入園式が終わり、次の日全ての保育室から大泣きの大合唱、外に出ようとする子どもをなだめるのに躍起の職員、その頃給食室では、大パニック。その日のメニューはカレーでした。前日からリハーサルして使った回転釜の着火ができなくて、業者に電話するも昼食時には到底間に合わないとのこと、大慌てで小鍋に移してやっと間に合ったというアクシデント。おやつはパンケーキ、パンケーキを入れるお皿を給食室は用意していたのに保育室では子どもたちの泣き声を何とか収めようと急いで直接子どもの手に持たせ食べさせました。その状態を見た保護者が「アトムはお皿も使わせないでそのままテーブルに置いて食べさせている。衛生上問題だ」とクレーム、入園を祝う会に引き続き、2日目も散々な結果。その後「保育士を先生と呼ばせていない。子どもを呼び捨ておかしい」「生活発表会がないのは納得いかない」「懇談会の回数が多い」「土間にいつも土が上がっている。町立の時にはきれいだった」と事務室には険しい顔の保護者の人が次々と・・・。町立とアトムの違い、用務員を雇用している町立と全て保育士がしないといけないアトムの違い、一つひとつを説明して納得してもらうしかありませんでした。その繰り返しの4、5月、6月には足が痛くて朝ベットから起き上がれない状態になりました。検査してもらっても異常なし。鍼治療、マッサージに連日通いましたが変化なし。ある日の出勤時アトムの建物が見えた時、動悸がしてUターンしたくなったのです。その時身体の不調は登園拒否だったのだと気がついたのです。精神がもたなくなると身体に影響が出ると聞いていたけど本当だと納得できました。

大人の喧噪をよそに子どもたちが慣れるのは早く徐々に泣き声もましになり楽しんでいました。保護者の方も日毎に理解を示してくれるようになり落ち着いてきました。9月、運動会を見てくれたら私たちが何を大切にしているかわかってもらえると楽しみにしていました。しかしその日天気不安定、当日の朝、急遽原子炉体育館に場所変更、機材を運ぶ途中で大雨になり濡れながらの作業でした。体育館の中に旗を張り巡らす作業をお父さんたちが手伝ってくれた時には、それまで批判やクレームばかりの対応しか体験していなかったのうれしくて泣きそうになりました。そして3月、5歳児最後の懇談会で保護者が「今までいじわるな感じのことばかり言って申し訳なかった。アトムに対して大きく誤解していた。アトムが園庭に駐車場を作る時、桜の木を切った。その桜は自分たちにとっては思い出の桜だった。無視されたようで腹立たしかった。でもそんな理由アトムは知らないもんねえ。民営化第1号がなんで第6なん?との憤りをぶつけていた。最初は町立との違いに驚いた。でも子どもたちが楽しく過ごしていたのを見て大人の自分たちは何をしているんだろうと反省した。アトムがここに来てくれて本当に良かった」と言ってくれました。混乱の1年でしたがひとつ一つ貴重な体験をさせてもらいました。

その後の10年は、子ども、保護者、職員とエピソード満載ですが色々ありながらも大所帯の保育園は大きな混乱なく過ごせました。ありがたいことに毎年アトム共同保育園への入園希望者が多く、待機児がいる状態だったので、第2園を考えたのです。

2013年4月、つばさ共同保育園開園の際、アトム共同保育園の1年目を経験している私は不安にも似た気持ちでしたがお陰様で大きな混乱もなくスタートをきることができてホッとしました。そして4月からはアトム共同保育園建て替えの為にアトム共同保育園園児と職員がつばさ共同保育園と合同保育になり、子ども、職員数は現在の倍近くになります。丁度、アトム共同保育園開園時と同じ規模になると思います。多人数になると何かと行き届かないことも多くなるかと思えます。そんな時は今まで同様、職員を助けてあげてください。

以下のことのご協力をお願いします。全員で守っていただければ随分スムーズになります。保護者と職員の共同精神で大変さを乗り切ってください。最後までお願いばかりですがどうぞよろしくお願い致します。

## NO1 駐車場

現在でもピークの際は園庭を使用していますが、きっと待機状態になると思います。近くの方は徒歩でお迎えの際はできるだけスピーディに帰宅の途についていただければ緩和されると思います。

## NO2 タッチパネルの押し忘れ

大人数の世帯を職員は把握できないと思いますので、送迎の際忘れずお願いします。

## NO3 子どもたちの動きに注意して下さい。

保育室が不足するため、ふれあいルーム、つばさホールを使用します。保育室に慣れるまでには時間がかかると思います。送迎時わが子ではない子どもの危険な動きを見た時には是非注意してあげてください。直接、注意できない方は職員に知らせてください。

いよいよ次世代へのバトンタッチです。伝えたいこと

①『出会いが人をつくる』のです。幼少期の体験だけで一生は決まりません。

②『アトム・つばさの保育は人権を守る、心を耕す保育』です。

目に見えるものではありませんので出来栄や成果は期待しないで下さい。

③ 自分を大切に！自分と同じように他人を大切に！

違いを認めることは容易ではありませんが、自分の心の中に他人を入れないのは独裁者です。自分にとって都合の悪いことを発言させない独裁者は成長がありません。

現在を作るのは現在のメンバーしかいません。

新生アトム・つばさを作って下さい。

新園長をよろしくお願いします。

この場をお借りしまして2月23日の謝恩会のお礼をお伝えしたいと思います。サプライズ企画満載でその夜眠れないほど感動しました。みなさんの思いが心に響く素敵な式をありがとうございました。いっぱい、いっぱいありがとうございました！！  
又すぐに会うと思いますがひとまずさようなら。



謝恩会 (2/23 煉瓦館コットンホールにて)

今年度もありがとうございました！！

仲嶺

つばさ共同保育園、2年目が終わろうとしています。

常に大事にしてきたことは、この保育園が子どもも大人もお居心地のいい場所になっているか、子どもだけでなく大人も学んでいるか…大人も育つ保育園であってほしいということでしたが、実際はどうだったのだろうかと誰かに聞きたい思いでいます。

この3月でぞう組の方は卒園を迎えられますが、このつばさ共同保育園での生活はどうだったでしょうか？ 楽しい思い出が一つでも多くあれば嬉しく思います。私は、ぞう組の保育行事にも関われ、そのことを通して保護者の方といろいろな話ができました。その一つ一つが嬉しい懐かしい思い出です。子ども達、保護者の方、ありがとうございました。

そして、時を同じくして、現園長の市原が定年退職を迎えます。市原の退職後も引き続き大事にしていきたいと思えます。

1年間ありがとうございました

事務室 吉尾

今年度も、早いもので残り1ヶ月ですね。

入園当初、不安がたくさんあった子どもも、だんだんと安心して過ごしてくれるようになった姿、とても嬉しかったです。

ぞう組のみんなは、もうすぐ卒園。27名の個性豊かな仲間たち。保育に入っていない私にも、思い出がたくさんあります。

七夕会、初めて演じた織姫に、「可愛い！」「良かった！」と、(多分…子どもたちの優しさで)言いにくくて、本気で胸がキュンとなりました。

一時保育の子どもに手こずっている私の横で、泣いている子どもの気持ちを察知し、上手に遊んでくれ、楽しく過ごさせてくれました。

ぞう組のみんな、ありがとう！！

春からは、いよいよ小学1年生。環境が変わると、子どもも親も不安でいっぱいです。小学校生活は、毎日の様子がわかる保育園と違って、見えない部分が多く、親も不安になり、戸惑うこともたくさんあると思いますが、子どもの力を信じて、見守る事も大事な事だと思えます。

悩んだ時は、つばさに遊びに来て下さい。いつでも待っていますよ。

事務室の「いっちゃん」より

事務室 一森

卒園生を送り出すのも今年で2回目となりました。昨年は10名でしたが、今年は27名です。事務室には、担任からお使いを頼まれてきた子、体調が悪くてお散歩には一緒に行けない子や今日はどうしてもクラスで過ごしたくない子、様々な子たちが来ます。3歳以上クラスに保育のヘルプに入ることも少ない私は、そんなときに子どもたちを知ることができ、仲良くなれます。それぞれとのエピソードはおもしろく、びっくりするようなこともありました。仲良くなってから別の日に違うクラスで会って目が合うとたいへい特別な笑顔を見せてくれます。2年経つとほとんどの子が「いっちゃん」と呼んでくれるようになりました。卒園式のことを想像すると当日の役割を泣かずにちゃんとこなせるか今から心配のいっちゃんです。

# 第29回『保育の集い』の報告

アトム、つばさから数人の保護者が参加してくれました。ありがとうございました。  
実行委員 アトム共同保育園【大野京子・川中三和・松藤美和・岡田美穂・上野由美子】  
つばさ共同保育園【岡本華奈・高木雅・谷野則文・上原峰子】

夏から準備を進め2年目の保育士メンバーの3名から自分たちの体験から、保育士を目指す人たちを励ませるような『集い』にしたいとの強い希望があり今回の内容となりました。

## プログラムは 第1部

- リレートーク ・新人保育士としての体験から (①高木→②岡本→③岡田)  
・中堅保育士の葛藤 (④上野→⑤谷野)  
・管理職へのチャレンジ (⑥田丸→⑦仲嶺)

## 第2部 何でも質問コーナー

終了後 交流会を一時間程行いました。

参加者は熊取町以外（北海道、静岡、名古屋、滋賀、岡山、大阪市、和歌山、奈良）から45名参加（内訳＝学生21、保育関係2、学校関係8、その他14名）

## 参加者の感想を簡単にまとめると

・多くの学生さんからは 現場で働く先生方の声が聞けて良かった。自分の思いにふたをせずこれから日々頑張りたいと思いました。

・先生からは 身の回りの学生、卒業生の姿と重なることが多く、私自身は養成校で何ができるのか考えさせられました。教員研修に関る者として今日の学びを若い先生の育成に活かしたいと思います。

・行政職の方からは これからの若い力と中堅との意見をたたかわせる姿というものの当たり前ですが大切さを改めて考えさせられました。

### ・他業種からは

保育士としての経験が短い方、長い方関係なく「子どもの為に」「良い園に」「自分を含め職員が成長できるように」日々、考え、試行されていると感じました。

・保護者の方からは 質問されたことに的確に自分の考えを整理して話す。真剣なやりとり、嘘もきれいごとでもない正直な気持ちを話している先生たちの姿を見てすごい所だなあ厳しいけど、自分と言う人間に向き合わせてくれて、それをまた保育に活かせる環境があるなんて、なんて幸せなんだろうと感じました。集いに参加して心が揺さぶられました。今の職場でも活かせることはあるのではないかと必死で聞いていました。

ほぼ全員が感想を書いてくれました。保育士の赤裸々な話が聞けたことがとても良かったとの感想が多く、この内容で良かった！と実行委員一同胸をなでおろしました。

来年の『集い』のテーマの要望がありましたら、遠慮なく保育士に伝えて下さい。

